

出展企業

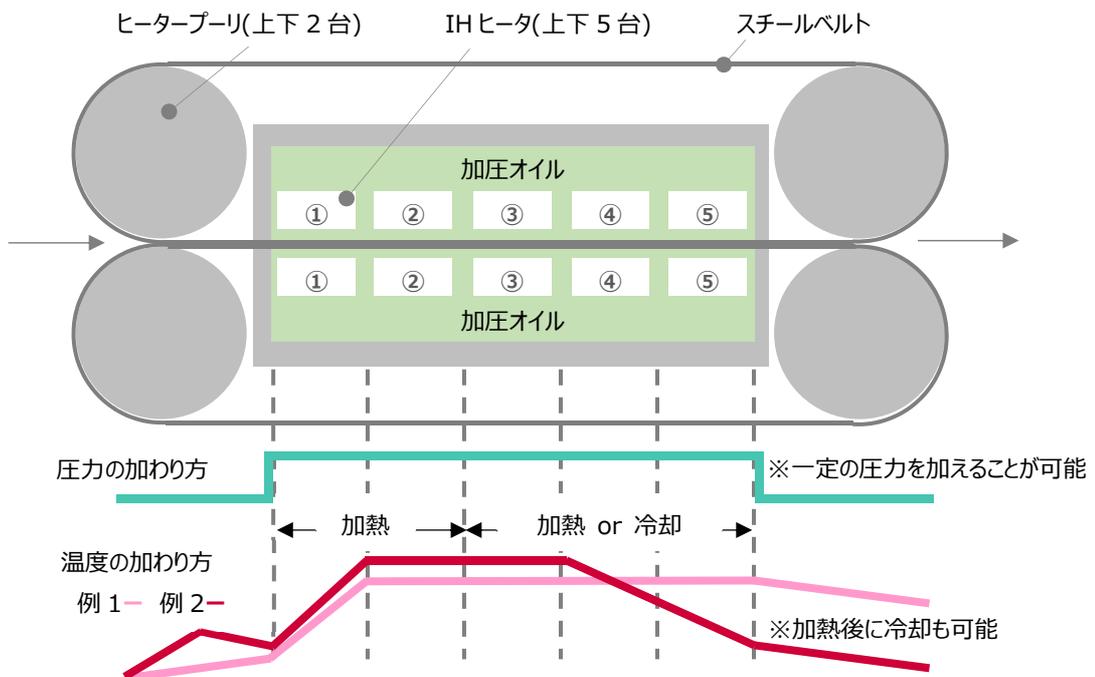
提案名	液圧式ダブルベルトプレス		連続的に加圧・加熱・冷却が可能	
企業名	株式会社 SGIC		住所	徳島県阿南市才見町旭越山 68 番地
			U R L	https://s-gic.jp
連絡先	部署	営業技術部	T E L	0884-23-2850
	担当者	勢井 秀平	E-mail	s-sei@s-gic.jp
会社概要	設立	平成 15 年 5 月 1 日	代表者	勢井 啓介
	資本金	10,000 千円	従業員	17 名
	事業内容	プラスチック製造機械・自動省力機械・検査装置・NC スリッター 紙パルプ機械等設計製作の開発、製造、販売		
提案内容	【適用可能分野】 金属系複合材料, ラミネート製品, 繊維強化プラスチック (CFRP, GFRP 等), 機能性フィルム (FCV 等), 架橋 (ゴムの加硫など), 各種ボード類 【開発レベル】 <input type="checkbox"/> アイデア段階 <input type="checkbox"/> 試作/実験段階 <input type="checkbox"/> 開発完了段階 <input checked="" type="checkbox"/> 製品化段階 【特許の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			

【概要】

液圧式ダブルベルトプレス装置とは、連続的に一定の圧力(面圧)を加えた状態で加熱・冷却可能な装置です。CCL 等のラミネート製品、プリプレグシート (CFRP 等) の加工、機能性フィルムや熱可塑性樹脂の加工を連続的に行えるため、生産効率が向上します。

※圧力: ~10MPa、加熱: ~400℃まで対応可能。

▼液圧式ダブルベルトプレスの加圧・加熱・冷却イメージ



【技術新規性】

加圧(面圧付与)した状態で加熱・冷却できるため、熱可塑性材料を連続的に加工可能。

【コスト優位性】

品質: ローラー間で圧抜け・温度ムラ発生するローラー式ダブルベルトプレスに比べ品質向上。

※高圧で連続面加圧が可能(最大 10MPa)。

※IH 加熱によりベルトを直接加熱できるため、省エネかつ高速な温度調整が可能。

※冷却オイルによるベルト直接冷却により、急速な冷却が可能。

生産性: ロール to ロールで生産できるため、バッチ式に比べ生産効率向上。

希望提携内容	CCL、機能性フィルム等の生産効率向上を検討している企業様の紹介
キーワード	液圧式ダブルベルトプレス、連続生産、熱可塑性材料の加工